

日本鉄鋼協会記事

編集委員会

第4回運営委員会 開催日：9月13日。出席者：松下委員長，ほか5名。

1. 和文会誌分科会，欧文会誌分科会，講演大会分科会，出版分科会より，報告がなされた。
2. 編集運営委員候補が案通り承認された。
3. ヘンダーソン賞候補論文7件より1件にしぼられ理事会にかけられることになった。

第7回和文会誌分科会 開催日：9月5日。出席者：松下主査，ほか14名。

1. 11件の論文について審査報告がなされ，修正依頼3件，掲載決定が8件であった。
2. 第61年第1号に論文11件，技術資料1件，共同研究会報告1件，計13件，掲載決定した。
3. 第87回講演大会より，48件の論文が投稿勧誘されることになった。
4. 論文勧誘方法について討議がなされた。
5. 鉄と鋼投稿規程改訂会告案について

第7回欧文会誌分科会 開催日：9月17日。出席者：中村幹事，ほか6名。

1. 6件の論文審査報告がなされた。
2. 「鉄と鋼」60年10号，14号のアブストラクト，および「鉄と鋼」以外の国内文献から計14件の研究論文について投稿を勧誘することになった。

共同研究会

鋼管部会

第15回継目無鋼管分科会 開催日：9月2，3日。出席者：三瀬部会長，小滝主査，ほか60名。

第1日目 (マンネスマン関係)

共通議題

1. ロールショップ作業および補助作業について
2. ビレットコンディショニングについて

担当会社によつてアンケートし，まとめられた結果を報告の後，討議

第2日目 (熱間押し関係)

共通議題

1. 押し鋼管に発生す疵について
2. (押し)プレスのアライメントの測定方法について

担当会社によつて，アンケートしまとめられた結果を報告の後，討議

その他，工場操業状況表の各項目の内容について，統一性および意味をもたせるための討議が行なわれた。次回より定義を更にはつきりさせた様式で報告が行なわれる予定である。

第15回溶接鋼管分科会 開催日：8月26，27日。出席者：三瀬部会長，志水主査，ほか90名。

第1日目 (SAW関係)

共通議題

1. 外観・寸法検査システムおよび客先提出類の統一化について
 2. 鋼管の周継ぎ溶接方法と品質管理について
- 第2日目 (ERW, CBW関係)

共通議題

1. 電縫管の溶接欠陥の原因と対策について
 2. 鍛接機の操業条件について
 3. ラインパイプの溶接品質について
- について事前にアンケートし，まとめられた報告に基づき，活発な討議が行なわれた。

鉄鋼分析部会

第37回鋼中非金属介在物分科会 開催日：8月30日。出席者：成田主査，ほか13名。

鋼中空化物抽出分離定量法に関する共同実験結果が報告された。

Fe-Ti-N系およびFe-Ti-C-N系試料については比較的良好な結果が得られ，共同実験としてとりあげた10%アセチル・アセトン系電解法，りん酸(2+1)室温分解法，およびよう素-メタノール法の3方法とも定量的にTi化合物(おもにTiNおよびTiC)が抽出できることがわかった。

Fe-Zr-N系およびFe-Zr-C-N系試料については10%アセチル・アセトン系電解法がもつとも抽出率が高くりん酸(2+1)室温分解法がもつとも抽出率が低いことがわかった。またとくにFe-Zr-N系試料において所間差が大きいなど良好な結果をえることができなかった。

今回は10月23日に新日鉄・大分で行なう予定である。

設備技術部会

第11回鉄鋼設備分科会 開催日：9月12，13日。出席者：矢沢部会長，森本主査，ほか81名。

日本鋼管福山製鉄所で開催した。

共通議題は「炉頂装入装置について」で，7件の発表があつた。高炉装入装置については，耐摩耗材，ガスシール性に対する信頼性，保守点検の容易性，炉内への原料分配への配慮，保全作業の環境改善に重点がおかれていることが明らかになった。

また今回「焼結機の主排風機の摩耗対策」，「マッドガンの故障対策とその改善機の開発」についてアンケートにより各委員の見解をまとめ報告された。高炉鉄皮亀裂防止対策小委員会の中間報告があり，自由議題として，「ストランドクーリング方式の焼結機」について発表があつた。

工場見学は，福山製鉄所の第5高炉，第5焼結，原料センターの見学を行なつた。

鉄鋼基礎共同研究会

凝固部会

第8回部会 開催日：8月22, 23日. 出席者：郡司部会長, ほか 34 名.

今回は2日間にわたり本郷学士会館で開催した. 3つのグループに分けて研究をしているが, (I)の「鋼の凝固組織の成因に関する研究」では3件の発表があり, 岡本委員を中心にまとめた「鋼の凝固組織とその腐蝕液」は「鉄と鋼」に発表することにした. (II)の「鋼の凝固と偏析の機構に関する研究」では3件, (III)の「鋼の凝固と伝熱に関する研究」では4件の発表があり, デンドライトの生成, 成長機構を中心に活発な意見交換が行なわれた. また各委員の研究経過が報告され, 問題点について相互にアドバイスを行なった.

再結晶部会

第9回部会 開催日：9月9日. 出席者：阿部部会長ほか 40 名.

今回は「急速加熱と再結晶」を中心に下記の4件の発表があった.

1. 18Cr ステンレス鋼板の急速加熱 (東大工) 五弓, 鈴木
2. 純鉄および Fe-C 合金の冷延-再結晶集合組織 (神鋼浅日研) 柚島, 小川, 福塚
3. Fe-Al-N 合金における AlN 析出の前段階 (川鉄技研) 井口, 大橋
4. 連続焼鈍材の結晶粒径および集合組織に及ぼす高

温巻取の影響

(鋼管技研) 中岡, 久保寺, 荒木, 岩瀬
部会報告書 (B 5 版 500 頁) は 10 日未完成の予定.

特殊精錬部会

第2回第2分科会 開催日：9月10日. 出席者：後藤部会長, 相山主査, ほか 13 名.

本分科会は ESR の実操業の問題を取り上げて研究していくグループであるが, 今回は ESR 鋼塊の欠陥について, 各委員から報告され活発な討論が行なわれた.

現在, 共通テーマについてなにを取り上げるか検討中であるが, 当面は実操業上の問題点を選定し, 現在までの経験に基づいて討論し, 問題点を整理して行くこととし, 次の検討テーマとして

- (1) ESR における水素の問題 (水素分析資料採取法なども含む)
- (2) ESR 鑄型に関する問題 (歪など) などを取りあげていくことにした.

第2回第3分科会 開催日：9月9日. 出席者：郡司主査, ほか 18 名.

第2回分科会を鉄鋼協会会議室で開催した. 自主研究は5件の発表が行なわれ, 貴重な意見交換を行なった.

また, 自主研究と平行して, 共同研究を行なうことにし, ESR インゴットの凝固特性の把握のために, 凝固過程を表現する数式モデルの設定を試みることで鋼種を 18-8 ステンレスおよび炭素鋼に限定して実験により境界条件を定め研究することとした. 梅田員委がとりまとめを行なうこととし, 実験項目の詳細についてはアンケート形式で各委員の意向を確認することとした.

新入会員氏名

(昭和49年7月1日~7月31日)

正 会 員

水上 誠也 (株)東京精密土浦工場
小本 章夫 新日鉄(株)室蘭製鉄所
榊井 為則 " 堺製鉄所
渡辺 和典 大同製鋼(株)星崎工場
森 広司 " "
松本千恵人 日新製鋼(株)呉製鉄所
星限 豊 " "
山田 恭嗣 " "
植松 美博 " 周南製鉄所
今富 久雄 (日新製鋼)
理化学研究所
善本 毅 川崎製鉄(株)
千葉製鉄所
椎田 満 " "
菊池 勝平 " "
未村 功 " "
霜出 徹郎 " "
弦田 登 " "
黒須 英典 " 鋼材技術室
小林 義紀 " 葦合工場

山口 篤 日本鋼管(株) 福山製鉄所
麦田 幹雄 " "
関 信博 " 技術研究所
高橋 明 住友金属工業(株) 鹿島製鉄所
寺尾 良一 " "
中居 修二 " "
小宮 敏明 新日鉄(株)大分製鉄所
北川 修三 (大同製鋼)名古屋大鉄
鋼第2講座研究員
清藤 毅 特殊製鋼(株)技術部
玉沢 光春 " "
外岡 耀 " "
柴崎 統 東京芝浦電気(株) タービン事業部
中山 義夫 " "
大沢 敏 "タービン西工場
中川 重一 日本砂鉄鋼業(株) 技術部
大島 宣行 " 製鋼部

武田 宏一 日本鉱業(株) 佐賀関製鉄所
菅沼 輝夫 " 倉見工場
秋葉 賢樹 神戸製鋼所(株) 中央研究所
西本 良夫 吉川工業(株) 技術開発部
百瀬 治 東海大学工学部 専任講師
榎田 欣司 大阪製鋼(株)
藤根 進一 マルヤス工業(株) 岡崎工場
下野 旭 トビー工業(株) 豊橋製造所
穴戸 周一 岩手製鉄(株)
笠原 晃明 東京瓦斯(株) 総合研究所
木崎 皖司 石山島播磨重工(株) 横浜第一工場
江良 雅之 (株)日立製作所 日立研究所

稲岡 寛二	播州ケミカル(株)	八木 勲	光洋イトン(株)	学 生 会 員	
大木 貞嗣	日本電子(株)		熱処理係	上原 康秀	富山大学工学部金属工 学
	関西営業所	細谷 条治	淀川製鋼所	未下 豊	〃 〃
相田 実生	(株)鉄原名古屋支店	塚本 栄紀	大平洋金属(株)	山村 勇	〃 〃
浅見昭三郎	高砂鉄工(株)		富山工場	磯上 勝行	京都大学大学院工学研 究科金属加工学
	圧延事業部	加藤 欽之	〃 八戸工場	未下 正行	〃 工学部金属加工学 科田村研究室
小久保晴雄	ノザワインターナシ ョナル(株)	矢島善次郎	金沢工業大学工学部 機械工学科助手	梅咲 則正	大阪大学大学院工学研 究科溶接工学研究所
中川 卓	佐藤技術研究所	新谷 光二	北海道大学工学部 助教授	吉村 修	横浜国立大大学院工学 研究科
山中 功一	横浜大学病院	土居 定雄	愛媛大工冶金学科講師	藤巻 正憲	東京工業大学大学院 鉄鋼短期大学鉄鋼工学
横山 晶好	三井建設(株)	羽田野 甫	東京工業大学精密工学 研究所	阿野 浩二	
	技術研究室	橋本 功二	東北大学金属材料研究 所助教授		外 国 会 員
丸川 吉仁	共英製鉄(株)製鋼課	野口 孝男	日本鋼管(株)	周 德 興	(ソウル)
村瀬 宏一	川崎重工業(株)		技術研究所	Avigdor Zangvil	(Israel)
	技術研究所				
田中 義三	日本特殊鋼技術部				
牧村 隆	揖斐川電気工業(株)				
	河間工場				

(昭和49年8月1日~8月31日)

正 会 員		中村 芳美	(株)神戸製鋼所	東海 隆史	日新製鋼(株)
荒井 卓司	川崎製鉄(株)		製品開発部		阪神製造所
	技術研究所	郡田 和彦	〃 加古川研究所	小野 賢	日本鋼管(株)
上田 修三	〃 〃	三未 賢二	〃 中央研究所		技術研究所福山
渡辺 洋一	〃 千葉製鉄所	清遠日出男	住友金属工業(株)	学 生 会 員	
船橋 佳子	〃 技術研究所		鋼管製造所	未原 茂文	九州工業大学院金属科
三上 公	〃 千葉製鉄所	広未 伸好	〃 和歌山製鉄所	野村 正一	名古屋大学工金属
涛崎 忍	〃 水崎製鉄所	浜島 吉男	トピー工業(株)	別府 潔	大阪府立大工金属工学
中島 義夫	日新製鋼(株)具製鉄所		技術研究所	倉田 勇雄	金沢工業大工機械
青未 健一	〃 〃	野口 康男	三菱製鋼(株)	河部 昭雄	名古屋大院工学研究科 金属工学専攻
藤田 昇平	〃 〃		東京製作所	石神 理	熊本大院工学研究科
藤本 一	〃 周南製鋼所	細工藤龍司	(株)日本製鋼所	向野 隆	〃 工学部
深沢 格三	〃 〃	正田 行男	室蘭製鉄所	伊東 博	京都大院冶金学科鉄冶 金研究室
越智 昭彦	新日本製鉄(株)		石川島播磨重工(株)	末永 博義	東北大工金属
	八幡製鉄所	安心院徹二	次長	外 国 会 員	
藤本 政美	〃 〃	松木 重昭	ユニ工業(株)	張 士 相	(中国)
山口 勝利	〃 名古屋製鉄所	竹内 孝	中央電気工業(株)		
服部 恵一	〃 〃	田村 敏郎	岩手製鉄(株)		
田代 均	〃 釜石製鉄所		日本砂鉄鋼業(株)		